

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510  
TEL : 0838-21-7765  
e-mail : hg-geo@city.hagi.lg.jp  
HP : <http://www.city.hagi.lg.jp/site/hg-geo/>

発行：萩ジオパーク構想推進協議会 事務局

## 日本ジオパーク委員会でのプレゼンテーションを終えて

5月21日(土)に、千葉市で日本ジオパーク委員会が開催され、萩ジオパーク構想を含む7地域が日本ジオパーク認定を目指して、プレゼンテーションを行いました。その概要をお知らせします。

萩ジオパークのテーマは「火山に育まれた萩の大地で、地球3億年の歴史を学び・今に生かし・未来へ伝える」です。萩の大地の成り立ちには、火山が大きく関わっています。世界的にも稀な火山地形が阿武火山群で見られますが、多くの観光客は歴史観光を目的に来萩しています。しかし、例えば萩の世界文化遺産にも大地との深い関わりがあります。地域の文化・歴史の中に秘められた大地との関わりを紹介し、エリア内の「大地の遺産」の魅力を紹介する導入とします。

ジオパーク活動では、2006年の伊良尾山で火山灰層の大規模な露頭発見を契機に、永尾隆志先生がジオパークに関する啓発活動に尽力され、住民によるジオ活動団体として豊ヶ淵交流事業実行委員会が作られました。実行委員会では持続可能な地域づくりのために学習会やイベントを継続的に開催し、昨年のツアーイベントでは学習会参加者がガイドを務めました。

一方、未来を担う子どもたちの教育の分野でも、コミュニティスクールと連携し、ジオサイトを活用した学習の機会をつくるなどの取組が進んでおり、子どもジオガイドなどの活動を行っています。また、拠点施設となる萩博物館と連携した「萩・海の学びトレインツアー」では、海辺のジオクルージングをおこないました。

このような取組を、まちづくりの機軸である萩まちじゅう博物館構想と連携して進めていきます。萩では、戦後早い時期から科学館を拠点に、教職員を中心とした地学教育の実践の伝統があり、今後とも積極的に取り組んでまいります。

### 【現地審査】

8月8日・9日に、日本ジオパーク委員会委員と先進ジオパークの専門員が来萩し、現地でのジオパーク活動の状況が審査されます。なお一層の皆さんのご支援とご協力をお願いします。



## 萩の火山と地震をテーマに校外ジオ学習 —むつみ中学校・佐々並小学校—

阿武火山群の1つ、伏馬山の麓にある、むつみ中学校の生徒たちが、5月11日(水)の午前中、笠山山頂の噴火口や海岸部の溶岩流・石切り場などを観察し、午後からは萩城跡を訪ねました。萩城跡では、安政4年(1857)に作成された萩城石垣の修理箇所を描いた絵図を手にとって、実際に修理が施された石垣を探しました。石垣崩壊の原因が、安政4年に起きた萩北断層の活断層地震によるものだと説明に、とても驚いていました。また、修理箇所の石垣に2種類の岩石が使われていることに気づきました。これは指月山の花崗岩と笠山の安山岩が混じっているのです。生徒たちは、午前中に笠山で安山岩を観察していたので、すぐに安山岩だと分かりました。現地を見て歩くことで、火山や地震を身近に感じる事ができたようでした。

また、佐々並小学校はジオパークの学習を深めるため、5月26日(木)に校外学習として、笠山山頂・明神池・風穴を訪れ、専門家の説明を聞きました。あいにく当日は、かすんで沖合の島々は見れませんが、大地のでき方の紙芝居を見たり、風穴での冷たい空気の流れなどを体感したりしました。



(説明を聞き、熱心にメモをとる生徒)



(安政4年地震で修理された石垣)

## 萩まちじゅう博物館推進委員会 地域・地区部会が開催されました

5月30日から6月9日にかけて、各所で萩まちじゅう博物館推進委員会の地域・地区部会が開催されました。委員会事務局から、平成28年度実施予定の事業や「おたから」の追加推薦募集について説明の後、意見交換が行われました。その中でジオパークについても、「これまでに登録されたおたからを活用して地域おこしにつなげたい」、「未登録のおたからの中に大地の遺産に関わるものが多く残されており、課題となっている」、「地域の歴史探訪をジオツアーと兼ねて行いたい」、「ジオサイトの保全に協力してもらいたい」など多くの意見をいただきました。いただいた情報やご意見を踏まえ、ジオパーク活動を萩まちじゅう博物館とも連携して実施してまいります。



## 萩高科学部、日本地球惑星科学連合大会でポスター発表 (於千葉・幕張)

5月22日(日)～26日(木)の5日間にわたって、前日、プレゼンテーションを行った会場の幕張メッセで、地球惑星科学を構成するすべての分野の研究者たちが一堂に会し、学術発表をする大会が開催されました。萩ジオパーク構想推進協議会は、誰もが参加できるパブリックセッションとして開催されたポスター発表に参加しました。また、この大会には「高校生発表セッション」に、山口県立萩高等学校科学部が参加しました。

彼女たちの研究テーマは、「震源断層の応力分布の可視化」と題し、「徳佐一地福断層」が活動したときの岩石にかかった応力を再現することを目的とし、断層の基礎調査を行うことで精確な地殻の振る舞いを再現、災害予知の精度を向上することを目指しています。阿武川と篠目川の合流部、長門峡の始まりの地点の河床に現れた岩石のひび(クラック)

の密度を求めるため、50カ所測定し、定量化するという地道な作業を行い、グラフ化を行いました。断層におけるクラック密度は、フラクタル分布をとり、そのフラクタル次元は0.5をとるといふ仮説を立証しました。熊本地震の後ということもあり、同じ高校生だけでなく、発表に訪れた一線の研究者を前に立派に結果を発表し、出された質問にも的確に対応していました。



(ポスターの前で研究内容を説明)



(全体会で研究成果を発表)

《お知らせ》 去る4月7日(木)に、至誠館大学を会場に開催した、尾池和夫先生(日本ジオパーク委員会委員長)によるジオパーク講演会の模様が、萩ケーブルで放映されます。お聴きになれなかった方は、ぜひ、ご視聴ください。

放送時間 6/22(水)・29(水)・7/6(水)、各19:00～、23:00～

6/23(木)・6/30(木)・7/7(木)、各11:00～、15:00～

## 7月の予定

- 「みんなで守ろう自然と環境発表会」(第1部)、「水と命の講演会」(第2部) 7月2日(土)、13:00～15:30、場所:サンライフ萩、内容:第1部は小中学生の環境に関する取組の発表、第2部は萩ジオパーク構想についての講演、主催:水と命を守る会
- 公開講演会「宇宙の神秘と地球誕生の謎に迫る」 7月3日(日)、13:00～16:30、会場:山口大学学生会館、講師:藤沢健太(山口大学教授)/加納 隆(放送大学客員教授)、主催:放送大学山口学習センター、事前申込み必要(Tel:083-928-2501)詳細はWeb、<http://www.sc.ouj.ac.jp/center/yamaguchi/2016/04/019131.html>で。
- ジオパーク講座① 7月17日(日)13:30～15:00、会場:萩セミナーハウス、講師:金折裕司(山口大学名誉教授)、演題:大地震に備える～大地と歴史から学ぶ～、主催:萩市・萩ジオパーク構想推進協議会
- 龍が通った道まつり 7月24日(日)、10:00～15:00、内容:ジオサイト「龍が通った道」の各ポイントをスタンラリーで巡る(景品あり)。龍神太鼓や手打ちそばのおもてなしなど。主催:壱ヶ淵交流事業実行委員会
- 教員現地研修会 7月29日(金)、8:30～11:30、内容:学校教員向けジオサイト見学会、主催:萩ジオパーク構想推進協議会